

富岡小

地域の思い 代々受け継ぐ



これがイチオシ

親交深まる「たてわり」

富岡小は、6年生が遊びを企画・運営する「たてわり遊び」や、上級生が下級生と協力して特別教室を掃除する「たてわり清掃」など縦割り活動が盛んです。縦割り班を生かした行事もあり、中でも「春のピックかまふさ（全校縦割り遠足）」が人気です。

声をかけ合いながら坂道を50分ほど歩き、支倉台自遊広場に到着後は一緒に遊んだりお弁当を食べたりします。4月に行うので1年生ともすぐに仲良くなれます。活動を通じ、学年を超えて声をかけ合える温かい学校です。

学校名 川崎町立富岡小学校
所在地 川崎町支倉川向49-5
創立 2012年
電話 0224(86)2003
校長 川村 陽一
児童数 45人

「豊年踊り」練習し披露
富岡小学校では、地域の伝統芸能「支倉豊年踊り」に取り組んでいます。五穀豊穡を願い、収穫に感謝し、踊ったのが元になっていきます。私たちもその思いを大切に、代々受け継いでいます。6年生は太鼓、5年生は唄とお囃子、4年生以下は踊りをします。保存会の方や上級生に教わりながら学んでいます。特に太鼓は覚えることが多く、5年生の12月頃から練習を始めます。2月の豊年太鼓引き継ぎ式までに、6年生から、太鼓のたたき方やリズム、扱い



支倉常長まつりで豊年太鼓唄踊りを披露する子どもたち
編集委員 植田幸太郎、大宮快斗、笹間希音、佐藤葵羽、佐藤友香、佐藤みやび、佐藤圭悟（6年）指導教員 住吉礼香、山下和範

わが校わがまち スクール通信



次回は
寛岳白山小(涌谷町)
七ヶ宿小(七ヶ宿町)

6年生が一体 迫力の踊り

岩沼西小

伝統継ぐ西小ソーラン

西小ソーランは、岩沼西小学校で6年生から5年生に代々引き継がれる伝統的な踊りです。1年生を迎える会や西つ子体育祭などで6年生が踊ります。6年生全員が心を一つにした踊りは、とても迫力があります。毎年11月末ごろ、6年生が5年生に踊り方を教える引き継ぎが始まります。6年生は手の位置や腰の高さなどを、5年生に優しく丁寧に、細かいところまで教えます。5年生は6年生に見てもらいながら、休み時間など一生懸命練習しています。



6年生から5年生に代々引き継がれている西小ソーラン
編集委員 菊池千尋、池谷陸玖、小野寺乃維、一條美空、上山瑛一斗、佐々木晴澄、岩崎遙香、浅野清雅、佐藤柚花、山下遥己（6年）指導教員 竹林優里香



これがイチオシ

集中し素早く無言清掃

岩沼西小では、無言清掃を行っています。無言清掃とは、給食を食べた後、全校児童が同じ時間に静かに掃除をすることです。静かに掃除をすることで、集中して、学校全体を真剣に掃除することができます。また、素早くきれいにすることもできます。

学校がきれいになると、気持ちがいっしょになります。これからも、無言清掃で集中しながら、みんなで学校の隅々まで掃除していきたいです。そして、きれいな西小を保っていきましょう。

学校名 岩沼市立岩沼西小学校
所在地 岩沼市松ヶ丘1の17
創立 1977年
電話 0223(24)3780
校長 丹野 哲也
児童数 867人

仙台市出身の作曲家菅野よう子さんが、同市青葉区の八幡小（児童576人）で音楽の特別授業を行った。6年生約100人に、菅野さんが作曲した東日本大震災の復興支援ソング「花は咲く」の合唱を指導した。菅野さんは「被災者が癒やされ、希望を持てる歌にしたかった」と伝えた。震災犠牲者の視点で作ったと話す、児童らは「知らなかった」と驚いた声を上げていた。歌い方について間の取り方や強調する歌詞、ピアノ伴奏のテ



「花は咲く」表現豊かに

仙台・八幡小 作曲の菅野さん合唱指導



6年生、学習発表会で披露へ

(10月19日朝刊より)

「スチューデントシティ」は、仙台市内の小学5、6年生がお仕事をして給料をもらい、買い物や納税をする「小さな街」です。河北新報社は、新聞づくりなどの仕事を体験する支局を開設しています。



河北新報の仕事 がんばった 仙台市スチューデントシティ支局員紹介



杵江小6年、大沢小6年 (10月7日)

泉ヶ丘小6年、鶴谷小6年 (10月8日)